港湾内における海水モニタリングの状況（H25年の最高値と直近の比較）

『最高値』→『直近(10/9-10/26採取)』の順、単位（ﾍﾞｸﾚﾙ／ﾘｯﾄﾙ）、検出限界値未満以下の場合はＮＤ(検出限界値)と表記

令和8年10月27日までの東電データまとめ

注：全ベータ測定値とは、ベータ線を放出する放射性物質（カリウム40、セシウム137、ストロンチウム90及び子孫核種のイットリウム90など）をまとめて測定した放射能濃度である。一般に海水には、天然核種のカリウム40が12ベクレル/リットル程度含まれている。

セシウム134	ND(0.38)		
セシウム137	0.56		
全ベータ	ND(11)		
トリチウム	ND(2.1)	※1	

セシウム134	3.3（H25/12/24）	→	ND(0.37)	1/8以下
セシウム137	7.3（H25/10/11）	→	ND(0.32)	1/20以下
全ベータ	：69（H25/8/19）	→	ND(11)	1/6以下
トリチウム	：68（H25/8/19）	→	0.67	1/100以下

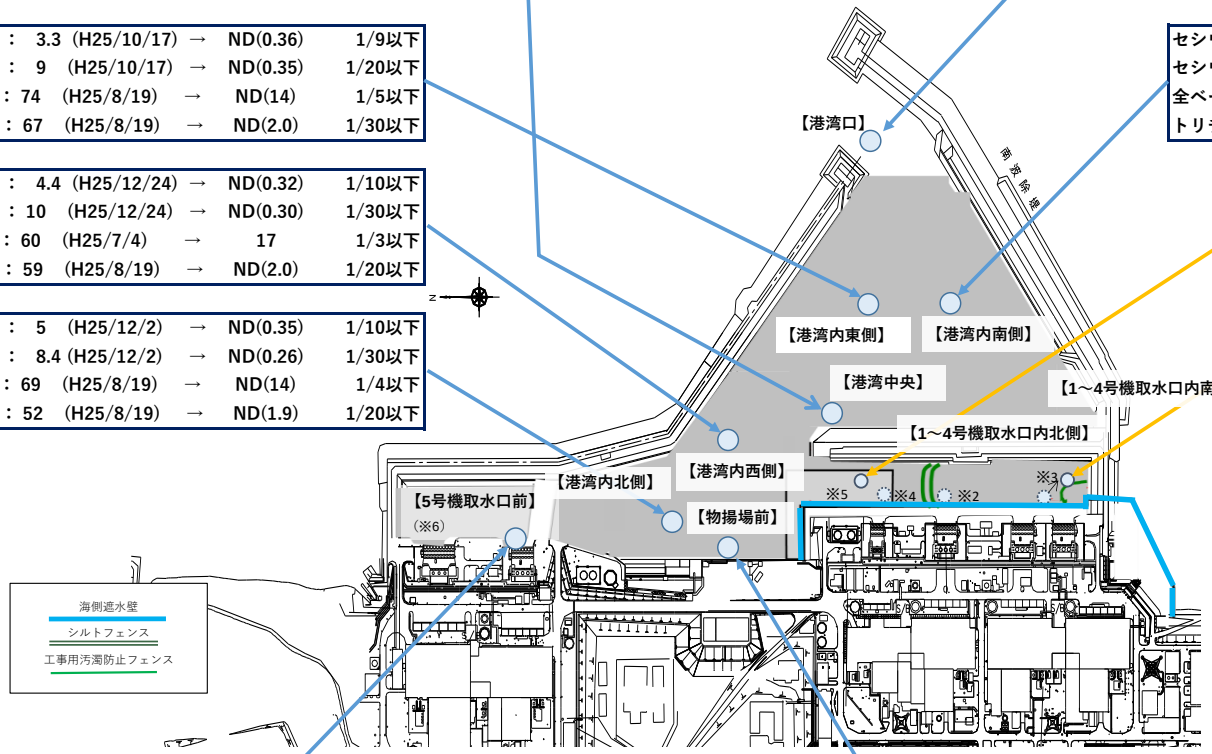
セシウム134	3.3（H25/10/17）	→	ND(0.36)	1/9以下
セシウム137	9（H25/10/17）	→	ND(0.35)	1/20以下
全ベータ	：74（H25/8/19）	→	ND(14)	1/5以下
トリチウム	：67（H25/8/19）	→	ND(2.0)	1/30以下

セシウム134	3.5（H25/10/17）	→	ND(0.34)	1/10以下
セシウム137	7.8（H25/10/17）	→	ND(0.30)	1/20以下
全ベータ	：79（H25/8/19）	→	ND(14)	1/5以下
トリチウム	：60（H25/8/19）	→	ND(1.9)	1/30以下

セシウム134	4.4（H25/12/24）	→	ND(0.32)	1/10以下
セシウム137	10（H25/12/24）	→	ND(0.30)	1/30以下
全ベータ	：60（H25/7/4）	→	17	1/3以下
トリチウム	：59（H25/8/19）	→	ND(2.0)	1/20以下

セシウム134	32（H25/10/11）	→	ND(0.37)	1/80以下
セシウム137	73（H25/10/11）	→	0.50	1/100以下
全ベータ	：320（H25/8/12）	→	ND(12)	1/20以下
トリチウム	：510（H25/9/2）	→	3.1	1/100以下

セシウム134	5（H25/12/2）	→	ND(0.35)	1/10以下
セシウム137	8.4（H25/12/2）	→	ND(0.26)	1/30以下
全ベータ	：69（H25/8/19）	→	ND(14)	1/4以下
トリチウム	：52（H25/8/19）	→	ND(1.9)	1/20以下



セシウム134	ND(0.39)		
セシウム137	6.8		
全ベータ	ND(12)		
トリチウム	17	※1	

セシウム134	2.8（H25/12/2）	→	ND(0.31)	1/9以下
セシウム137	5.8（H25/12/2）	→	ND(0.25)	1/20以下
全ベータ	：46（H25/8/19）	→	ND(12)	1/3以下
トリチウム	：24（H25/8/19）	→	ND(1.9)	1/10以下

セシウム134	5.3（H25/8/5）	→	ND(0.36)	1/10以下
セシウム137	8.6（H25/8/5）	→	0.34	1/20以下
全ベータ	：40（H25/7/3）	→	14	1/2以下
トリチウム	：340（H25/6/26）	→	ND(2.1)	1/100以下

※1:のモニタリングはH26年3月以降開始海側遮水壁の内側は埋め立てによりモニタリング終了。

※2：当該地点については、H30年12月12日以降、メガフロート移動の準備工事によりモニタリング終了。

※3：当該地点については、H31年2月6日以降、メガフロート移動の準備工事によりモニタリング地点移動。更に当該地点について、R5年1月20日以降、港湾魚類対策としてK排水路排水口へのシルトフェンス設置を行うことから、シルトフェンス外側へ移動（採取地点は東側に約３ｍ移動。）。

※4：当該地点については、H31年4月3日以降、メガフロート移動の準備工事によりモニタリング終了。

※5：当該地点については、周辺エリア工事に伴い、2023年5月25日から陸側に移動。

※6：当該地点については、ALPS関連設備設置工事等の完了に伴い、2023年7月3日以降、「6号機取水口前」から「5号機取水口前」に移動。

	法令濃度限度	WHO飲料水ガイドライン
セシウム134	60	10
セシウム137	90	10
ストロンチウム90	30	10
トリチウム	6万	1万

出典：東京電力ホームページ福島第一原子力発電所周辺の放射性物質の分析結果
http://www.tepco.co.jp/decommision/planaction/monitoring/index-j.html

港湾外近傍における海水モニタリングの状況（H25年の最高値と直近の比較）

単位（ﾍﾞｸﾚﾙ／ﾘｯﾄﾙ）、検出限界値未満の場合はＮＤと表記し、（　）内は検出限界値、ND(H25)はH25年中継続してND　　（直近値　9/25- 10/26採取）

令和8年10月27日までの東電データまとめ

	法令濃度限度	WHO飲料水ガイドライン
ｾｼｳﾑ134	60	10
ｾｼｳﾑ137	90	10
ｽﾄﾛﾝﾁｳﾑ90	30	10
ﾄﾘﾁｳﾑ	6万	1万

【港湾口北東側(沖合１km)】

セシウム134 ： ND （H25） → ND(0.33)
セシウム137 ： ND （H25） → ND(0.34)
全ベータ ： ND （H25） → 16
トリチウム ： ND （H25） → ND(0.32)

【港湾口東側(沖合１ｋｍ)】

セシウム134 ： ND （H25） → ND(0.30)
セシウム137 ： 1.6 （H25/10/18） → ND(0.24) 1/2以下
全ベータ ： ND （H25） → ND(14)
トリチウム ： 6.4 （H25/10/18） → ND(0.34) 1/10以下

【港湾口南東側 (沖合１ｋｍ)】

セシウム134 ： ND （H25） → ND(0.30)
セシウム137 ： ND （H25） → ND(0.32)
全ベータ ： ND （H25） → ND(14)
トリチウム ： ND （H25） → ND(0.32)

セシウム134 ： ND （H25） → ND(0.37)
セシウム137 ： ND （H25） → ND(0.29)
全ベータ ： ND （H25） → ND(14)
トリチウム ： 4.7 （H25/8/18） → ND(0.38) 1/10以下

【北防波堤北側(沖合０．５ｋｍ)】

セシウム134 ： 3.3 （H25/12/24） → ND(0.37) 1/8以下
セシウム137 ： 7.3 （H25/10/11） → ND(0.32) 1/20以下
全ベータ ： 69 （H25/8/19） → ND(11) 1/6以下
トリチウム ： 68 （H25/8/19） → 0.67 1/100以下

【港湾口】

【南防波堤南側 (沖合０．５ｋｍ)】

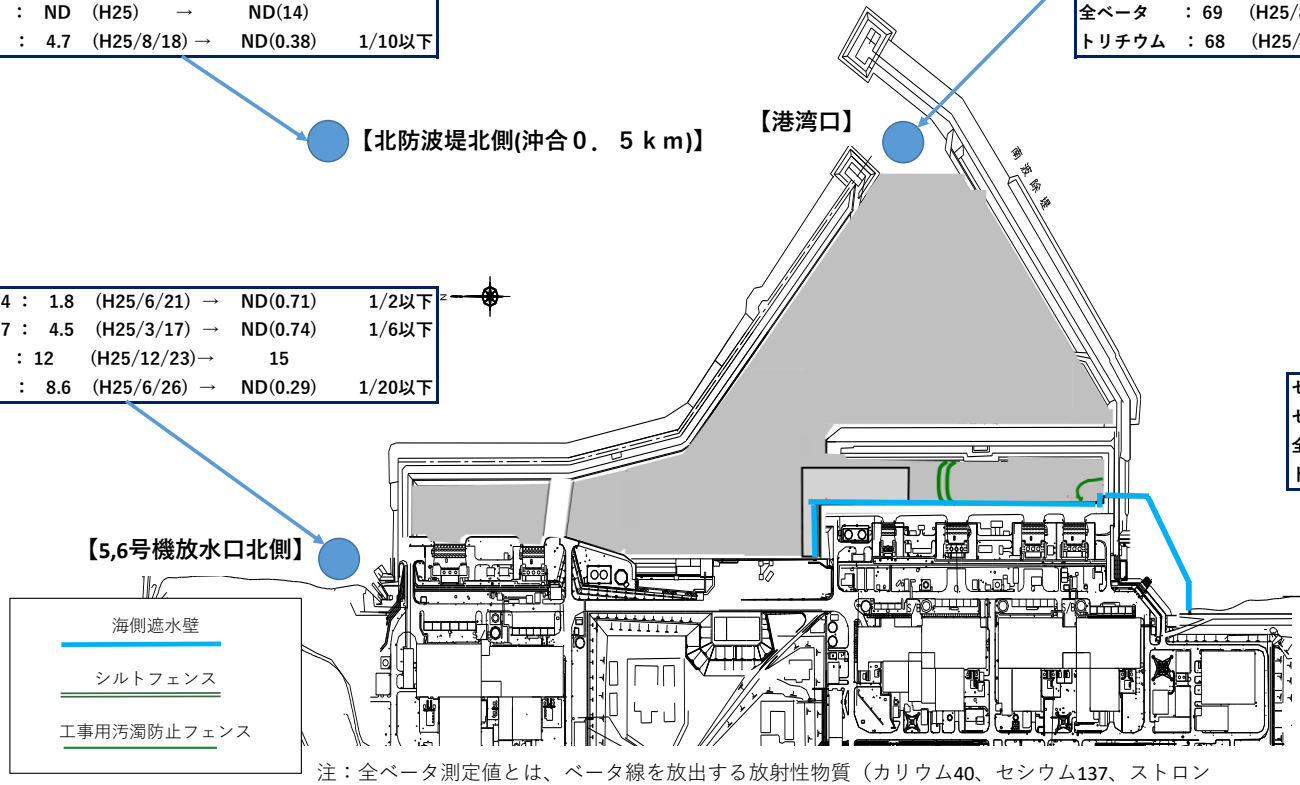
セシウム134 ： ND （H25） → ND(0.35)
セシウム137 ： ND （H25） → ND(0.28)
全ベータ ： ND （H25） → 19
トリチウム ： ND （H25） → ND(0.32)

セシウム134 ： 1.8 （H25/6/21） → ND(0.71) 1/2以下
セシウム137 ： 4.5 （H25/3/17） → ND(0.74) 1/6以下
全ベータ ： 12 （H25/12/23）→ 15
トリチウム ： 8.6 （H25/6/26） → ND(0.29) 1/20以下

【5,6号機放水口北側】

セシウム134 ： ND （H25） → ND(0.65)
セシウム137 ： 3 （H25/7/15） → ND(0.66) 1/4以下
全ベータ ： 15 （H25/12/23） → 15
トリチウム ： 1.9 （H25/11/25） → ND(0.33) 1/2以下

【南放水口付近（※）】



※R3年12月に採取地点の浸食により、採取地点を南放水口から南に約320ｍの地点から同放水口から南に約1,300ｍの地点に変更。R5年9月に浸食が解消したことから、採取地点を元の南放水口から南に約320ｍの地点に変更。更にR6年6月11日からは浸食により採取地点を 南放水口から南に約1,300ｍの地点に変更。

注：全ベータ測定値とは、ベータ線を放出する放射性物質（カリウム40、セシウム137、ストロンチウム90及び子孫核種のイットリウム90など）をまとめて測定した放射能濃度である。一般に海水には、天然核種のカリウム40が12ベクレル/リットル程度含まれている。

出典：東京電力ホームページ　福島第一原子力発電所周辺の放射性物質の分析結果
http://www.tepco.co.jp/decommision/planaction/monitoring/index-j.html